

令和6年度 茨城県立守谷高等学校グランドデザイン

校訓

克己 進取 誠実



目指す学校像

- ・知（確かな学力）、徳（豊かな心）、体（健やかな体）を育み、心身共に健康で、地域や社会に貢献しようとする人間を育成できる学校
- ・キャリア教育の充実を図り、生徒一人一人の興味・関心や特性に応じた進路実現ができる学校
- ・保護者や地域社会との連携を深め、生徒・保護者・地域社会に広く信頼される魅力ある学校

教育方針

1. 学力の向上をめざし、自らすすんで学習する態度を育てる。
2. 社会の規則を守り、心豊かな人間としての態度を育てる。
3. 心身の健康を養う態度を育てる。

目指す教職員像

- ・専門性を高めるための努力を続け、社会の変化やニーズに柔軟に対応した教育のできる教員
- ・生徒一人一人を大切に、信頼関係を築くことのできる教員

目指す生徒像

- ・学習を進路決定や自らの人生を豊かにするための課題として捉え取り組む生徒
- ・基本的生活習慣を確立し、規範意識を身に付け、地域や社会に貢献できる生徒

教員力向上の取組み

- ・学習指導部を中心とした相互授業参観
- ・各種研修会への積極的参加及び校内研修の充実
- ・生徒による授業評価アンケートの結果の分析と授業改善・検討

生徒育成のための取組み

- ・進路ガイダンスの効果的な実施（進路毎の説明会、大学等の見学会、合格者や卒業生による講演会）
- ・各種課外の実施（教科、面接、小論文）
- ・生徒面談及び保護者面談の充実
- ・特別活動（学校行事、部活動）を通じた人間力の育成
- ・きめ細やかな生徒相談
- ・地域での学び（ボランティア活動、各種活動への参加）

重点項目	重点目標
授業改善を主とした学力の向上	①主体的・対話的で深い学びの実現に向け、研修等を通じて ICT 活用指導力を高めるとともに、研究・実践を通して授業改革に努め、学校評価に係る生徒による授業評価の「授業満足度（KPI）」の平均値 3.4 以上を目指す。 ②すべての教員が年 1 回以上授業を公開する授業研究会を通して、教師一人一人の授業力向上を図る。 ③新課程での観点別評価について研究を重ね、目標と指導の評価の一体化を図り、授業の工夫改善を行う。
生徒の希望や資質・適性に応じた進路実現	④キャリアガイダンスを計画的・組織的・系統的に実施し、生徒の進路に対する意識の高揚を図る。 ⑤面談を通して生徒の希望及び資質・適性を的確に把握し、それらを踏まえた適切な進路指導により生徒の進路希望を支援する。
基本的生活習慣の確立	⑥きめ細かな生活指導を通して、規範意識の高揚と公共の場におけるマナーの向上を図る。 ⑦規則正しい生活の習慣化を図り、学校全体での遅刻回数を昨年より 30% 削減する。 ⑧薬物乱用防止や SNS 上でのトラブル、交通法規遵守に対する意識を高め、健康で安全な生活を送ろうとする意欲を高める。
特別活動・部活動の活性化	⑨ホームルーム活動、学校行事や生徒会活動、部活動において、生徒を主役とした活動を充実させる。生徒会アンケートを通して、生徒の意見を反映させた活気のある学校をつくる。 ⑩キャリアパスポートを活用することで、生徒自身が自らの学びの見通しをたて、事後に振り返ることで主体的に学びに向かう力を育む。 ⑪「茨城県部活動の運営方針」に定められた活動時間等を遵守し、部活動についての運営体制の見直しと意識改革を図る。
校外への広報と連携の充実	⑫HP の発信量を増やすとともに、インスタグラムや PTA 会報などさまざまなメディアを活用し、情報発信を活発化し、本校の魅力を伝える。 ⑬保護者との連携をさらに深めるとともに、地域の活動に積極的に参加したり、近隣小中学校との交流を進めたりすることによって、地域社会との連携の充実を図る。
働き方改革	⑭質の高い授業や個に応じた学習指導を実現するために、学校や地域の実情を踏まえ、教師が担うべき業務を整理し、適正化を図る。 ⑮ICT を活用し、仕事の削減・効率化に努める。

各類型の目標

【理数系】論理的思考力を育み、将来、理工系や医療系等の分野で地域や社会に貢献できる人材を育成する。

【文科系】言語活動を通して、豊かな表現力及びコミュニケーション能力を高め、地域や社会に貢献できる人材を育成する。

【総合系】多様な価値観や多角的な見方を育む授業を通して視野を広め、地域や社会に貢献できる人材を育成する。